

公開シンポジウム「歯科医学の将来展望」

1. 主 催 日本学術会議 歯学委員会
2. 日 時 平成20年9月2日（火） 13：00～17：15
3. 場 所 日本学術会議 講堂
（地下鉄千代田線「乃木坂駅」青山霊園方面出口徒歩1分）
4. 後 援 日本医歯薬アカデミー、NPO 法人アジア対口腔がん協会（AFOC）

5. 次 第

開催趣旨 医学、歯学教育の中で教養教育が日本の風土に馴染まず、特に専門技術教育に偏向しているのが現状です。また近年歯学、歯科医療は医学、医療から次第に乖離する傾向があり、歯学教育、歯科医療の現場において深刻な混乱を生じていることは国民の目からみても明らかになって参りました。今回は山積する諸問題を分析し、再び若者が目を輝かせて歯学を目指す学術分野として甦るいとぐちを探ることを目的として企画しました。特に歯学教育、臨床、および研究のあり方に焦点を絞って、学術を推進する大学人、業を代表する指導者、国民の声を聞くジャーナリストの考えを咀嚼する機会と捉えて、学術会議から発信したいと思えます。

(1) 13：00～13：05 開会挨拶 米田 俊之（日本学術会議会員）

(2) 演題・演者など

① 13：05～13：25

基調発言

瀬戸 暁一

（日本学術会議会員、同歯学委員会委員長）

② 13：25～13：45

「メディア関係者の立場から」

南 砂 先生（読売新聞）

③ 13：45～14：05

「歯科保健医療の今後の展望」

大久保 満男 先生（日本歯科医師会・会長）

④ 14：05～14：25

「歯科医師のキャリアパスと歯学教育」

古谷野 潔 先生

（日本学術会議連携会員、九州大学病院副病院長）

⑤ 14:25～14:45

「歯学研究の問題点を考える」

須田 立雄 先生

(日本学術会議連携会員、日本学士院会員)

14:45～15:00 休憩

⑥ 15:00～15:20

「口腔外科の Identity と境界領域問題について考える」

高戸 毅 先生

(日本学術会議連携会員、東京大学大学院教授)

⑦ 15:20～15:40

「歯科医学の将来展望－Periodontal medicine から始まる歯科界のブレイクスルー」

野口 俊英 先生 (日本学術会議連携会員、

愛知学院大学歯学部長)

⑧ 15:40～16:00

「臨床 (歯科治療学) の視点から」

須田 英明 先生 (日本学術会議連携会員、

東京医科歯科大学大学院教授)

⑨ 16:00～16:20

「口腔医学の創設・育成と医歯一元化の再考」

田中 健藏 先生 (福岡歯科大学理事長)

(3) 16:20～17:10 全体討論

(4) 17:10～17:15 閉会挨拶 渡邊 誠 先生 (日本学術会議会員、
歯学委員会副委員長)

座長

- ・ 日本学術会議連携会員
- ・ 日本学術会議連携会員

須田 英明

下野 正基

6. その他

事前の申込は必要ありません。当日、先着順で定員300名です。